

行政経営アクションプラン

I. 行政経営計画におけるアクションプランの位置付け

① 基本方針	Ⅲ	事務事業の検証と選択・集中を推進します	種別	<input type="radio"/>	新規	<input type="radio"/>	途中追加
				<input checked="" type="radio"/>	継続	<input type="radio"/>	終了
② 取組事項名	②	電算システム導入後の検証を行います	担当課	政策推進課			
③ アクションプラン名	1	電算システムの検証	担当	情報政策係			

II. アクションプランの内容

④ アクションプランの取組内容	⑤ 事業期間
<p>電算システムは、住民サービスの観点や職員の利便性向上、人件費の削減など様々な要因により判断することになるため、単純に数値のみでの評価は困難である。</p> <p>一方で、国では自治体クラウドの導入を推進しており、令和5年度末までにクラウド導入団体数を1,600団体とする目標を掲げている。</p> <p>このことから、将来的に自治体クラウドへの移行を見据えた取り組みを行うものである。</p>	<p>平成 <input type="text" value="29"/> 年度 から (2017)</p> <p>令和 <input type="text" value="3"/> 年度 まで (2021)</p> <p>※ 開始年度 平成 <input type="text" value="29"/> 年度</p>

⑥ アクションプランのスケジュール

平成29年度	変更(有)	平成30年度	変更(無)	令和元年度	変更(有)	令和2年度	変更(有)	令和3年度	変更(有)
<ul style="list-style-type: none"> 各システムにおける検証方法の検討 検証するための項目 ①操作性(誰もが利用できる) ②効率性(手作業と比較) など 		<ul style="list-style-type: none"> 各システムにおける検証方法の作成 		<ul style="list-style-type: none"> 検証方法の決定 各システムの検証 自治体クラウドに係る情報収集 		<ul style="list-style-type: none"> 検証方法の決定 各システムの検証 現システム稼働状況等のヒアリング 現システムの課題等精査 次期システムの導入検討 		同左	

⑦ アクションプランの目標

<ul style="list-style-type: none"> 各システムの導入後に検証を実施し、システム導入の必要性を見直す。 平成30年度令和元年度にシステムの検証方法を作成[達成指標や目標値は検証方法の決定後に作成する] 次期システム(クラウド化)の導入に向け、課題等を整理し、今後の取り組みを検討する。

⑧ アクションプランの達成指標	単位	H28	H29	H30	R01	R02	R03
		実績値	実績値	実績値	実績値	目標値	目標値
No.1 各システムにおける検証方法の作成			-	○	-		
No.2 現システムの検証課題整理					-	○	○
No.3 次期システムの導入検討						○	○
No.4							
No.5							
No.6							

⑨ 関係課との連携

検証に当たっては、各システムを利用している原課の協力が必要不可欠である。

Ⅲ. アクションプランの進捗状況、自己評価、取組実績、取組後の課題

年度	進捗状況	自己評価	⑩ 取組実績	⑪ 取組後の課題
H29 (2017)	×	C	未実施	検証方法の検討を行うにあたり、他自治体や企業の取り組み事例を調査する必要がある。
H30 (2018)	○	B	課内で検証方法の検討を行った。	検証にあたっては、事務事業整理やマイナンバー制度等に絡んでくるため、実施方法や原課の協力など調整が必要である。
R01 (2019)	△	C	自治体クラウドに係る情報収集を実施した。	次期システムへの自治体クラウド導入を検討するためには、導入を見越した対応が必要となるため、自治体クラウドに関する情報収集を実施した。 ただし、具体的な検証方法の決定には至っておらず、取り組みが遅れている。
R02 (2020)				
R03 (2021)				

Ⅳ. アクションプランの取組に関する行政経営推進委員会の評価、取組後の課題及び評価に対する改善・見直し

年度	⑫ 行政経営推進委員会の評価	⑬ 取組後の課題及び評価に対する改善・見直し
H29 (2017)	国では自治体クラウドの導入を推進しているようだが、近隣自治体との共同運用も視野に入れてはどうか。他市町村の電算コストやクラウドの導入状況を分析しながら進めていただきたい。	平成31年度にリース機器を入れ替える予定であるが、次期リースまでにクラウド導入できるように調査・研究を進める予定である。
H30 (2018)		
R01 (2019)		
R02 (2020)		
R03 (2021)		

1 「進捗状況」について

◎	計画を上回って進んだ
○	計画通り進んだ
△	一部の取組が遅れた
▲	全体的に取組が遅れた
×	未実施

2 「自己評価」について

A	想定以上の実施効果・成果が得られた、または想定以上の内容で検討・準備作業が行われた
B	概ね想定どおりの実施効果・成果が得られた、または概ね想定どおりの内容で検討・準備作業が行われた
C	想定どおりの実施効果・成果が得られなかった、または想定どおりに検討・準備作業が行われなかった（着手はしているが、検討結果が得られなかった等）

令和2年度 行政経営アクションプラン取組調査表

アクションプランNo.	Ⅲ	②	1	作成者	主任主査 川原 和貴
基本方針	事務事業の検証と選択・集中を推進します				
取組事項名	電算システム導入後の検証を行います				
アクションプラン名	電算システムの検証				
所管課	政策推進課				

1 アクションプランの実施予定及び実施状況

- (1) 行政経営アクションプランに基づく取り組みの実施予定(見込)または実施状況を記載してください。
 (2) 記載欄が不足した場合は、適宜追加してください。

実施(予定)月日	取り組み	具体的な内容
H30.9	既存の電算システムの検証	他自治体等の取組調査
H30.10	既存の電算システムの検証	検証方法の課内検討
R2.	<u>現システムの課題等精査</u>	<u>各課へのヒアリング</u>
R2.	<u>次期システムの導入検討</u>	<u>各課へのヒアリング、近隣自治体の動向確認等</u>

2 アクションプランの修正等

行政経営アクションプランに基づく取り組みを実施した結果、アクションプランの修正が必要と思われる場合は記載してください。

修正等内容
<u>ただ単にシステムの検証を行うだけではシステム導入の良否しか判断できないため、事務事業の見直しやマイナンバー制度対応なども含めた、将来的に自治体クラウドへの移行を見据えた検証を行うものとする。</u>